

研究部門の取り組み

2015年7月、旧創薬研究所と旧開発研究所の研究開発拠点を集約化して稼働したわたらせ創薬センターは、栃木県最南端の野木町に立地し、渡良瀬川・思川・巴波川の三つの河川が合流する渡良瀬遊水地に隣接しています。渡良瀬遊水地は、東京ドーム708個分に相当する日本最大の遊水地であり、首都圏有数の動植物の宝庫として、また人々のレクリエーションスポットとして大きな役割を果たしています。

環境では、自然の博物館と言われている渡良瀬遊水地周辺の汚染防止に協力すると共に、地域社会環境・地球環境の保全に努める活動を推進しています。

労働安全衛生では、そこで働く人々が安心して研究開発に打ち込めるよう、安全で快適な職場環境の整備に向け活動しています。

わたらせ創薬センター



医薬品の探索・創薬研究・研究開発
栃木県下都賀郡野木町野木1848

2015年度活動結果

環境

わたらせ創薬センター

1. CO₂ 排出量の削減

- CO₂ 排出量 2015年度：8,493 t（旧創薬研究所 621tを除く）
- ノーマイカーデイ（車通勤を自転車や徒歩の通勤にする活動）による CO₂ 削減
目標：23.0 t 以上削減 → 2015年度削減量：25.2 t

2. 廃棄物の適正管理

- 廃棄物総排出量 2015年度 121 t（注1）

3. 使用試薬等データベース化の推進及び管理

- 試薬等の効率的且つ有効な使用によるムダの削減

（注1）

旧創薬研究所の解体に伴う廃棄物総排出量につきましては、解体完了予定が2016年度のため、今年度の報告書には掲載しておりません。

社会貢献活動の推進

わたらせ創薬センター

1. 地域貢献活動の実施

- アルミ缶を回収して車椅子を寄付
- エコキャップ回収活動
- ひまわりプロジェクト参加による種蒔き、苗の育成
- 研究所内での献血活動
- AED 救命講習受講の推進
- 野木神社祭礼への協力支援
- 「全国友の会 小山支部」へあんずの実を提供
- 野木町産業祭への参加
- 国道4号線周辺清掃活動

2. 周辺住民とのコミュニケーション向上

- インターンシップ受入、職場見学・体験学習支援
- 視覚障害者施設の販売支援
- 新研究所建設に際し周辺環境に配慮を行い、住民の方への説明会を実施
- 桜の一般公開
- 納涼祭の開催

労働安全衛生

わたらせ創薬センター

1. 労働災害

- 2015 年度：目標 (3 日以上を通院労災 0 件) → 1 件発生

2. 危険点数の削減 (2015 年度対策実施件数)

	Aランク→Bランク以下
わたらせ創薬センター	1項目のうち1項目達成

製造部門の取り組み

能代工場



医薬品原薬・医薬品の製造
秋田県能代市松原1

能代工場は1995年に操業開始しました。秋田県北部沿岸地域に立地し、世界遺産の白神山地と一級河川の米代川、そして海の幸を提供してくれる日本海と自然環境に恵まれた環境です。2006年4月には「人に優しく、環境に優しい」をコンセプトとした新製剤棟を新設し主力工場として稼働しました。省エネルギーと地球環境に配慮した活動を目指し、当地の自然を守っていくことが当工場の社会的使命と考えています。

岡谷工場



医薬品の製造
長野県岡谷市湖畔1-14-3

岡谷工場は1948年に操業開始し、天竜川の源となる長野県諏訪湖畔に位置しています。蓼科高原、白樺湖、車山、霧ヶ峰高原、諏訪湖など四季の彩りに恵まれた、澄んだ空気と水と緑にあふれ、自然環境に恵まれた岡谷市の一角にあります。諏訪湖周辺では諏訪湖の水質保全と周辺の美化を守る「諏訪湖アダプトプログラム」活動に参加するなど、地域とのコミュニケーションと社会への貢献に努めています。
なお、2016年9月に岡谷工場は生産機能を移転し閉鎖する予定です。

2015 年度活動結果

環境

1. 能代工場

□ CO₂ 排出量 2014 年度：8,572 t → 2015 年度 8,617 t

□ 製造ロットあたりの CO₂ 排出量の抑制

目標：3.8 t/1ロット以下とする → 2015 年度実績：4.0 t/1ロット

- < 主な取組 >
- ・ 造粒乾燥作業時間の短縮による電気量削減
 - ・ 給湯器、給茶機のタイマー管理による使用制限
 - ・ 蒸気配管の保温強化による電力量削減
 - ・ 外灯の長期消灯などによる電気量削減
 - ・ 工場全体での空調管理の徹底による電力量を削減（夏場：28℃設定、冬場：20℃設定 厳守）
 - ・ 融雪装置を停止し、蒸気使用量削減（外気温プラス時）
 - ・ 受電力変更に伴ったコ・ジェネレーションの稼働時の設定変更による灯油使用料削減

□ 廃棄物発生量の削減

目標：110 t 以下とする（2014 年度実績：120 t）→ 2015 年度実績：79.9 t

- < 主な取組 >
- ・ リサイクル資料の回覧による、リサイクル効率アップへの意識向上
 - ・ 紙のリサイクル（古紙分別）
 - ・ PTPシートに使用される、アルミ使用量の削減
 - ・ 廃棄物扱いしていたカートン（試験用）をリサイクル品とした
 - ・ 工程の安定化による不良錠の削減
 - ・ 廃棄物扱いにしていた資材芯をリサイクル品とした

2. 岡谷工場

□ CO₂ 排出量 2014 年度：1,176 t → 2015 年度：1,028 t

□ 電気使用量の削減

2015 年度実績：1,230 千 kwh（前年度より 96 千 kwh 削減）

- 廃棄物量の削減
目標：276 t 以下の廃棄物削減を目標 → 2015 年実績 211 t
- リサイクル量の増加
目標：2015 年度目標 207 t 以上 → 2015 年度実績 90 t

社会貢献活動の推進

1. 能代工場

- 工場周辺地域の美化活動
- 風の松原を守る市民ボランティア大会
- 能代クリーンアップごみゼロ運動 (能代市役所周辺)
- COK20 (能代市が管理する歴史的建造物である旧料亭金勇の清掃及び保存活動)
- 能代クリーンアップ活動 (国道7号線沿い)
- 官庁落ち葉拾いボランティア活動
- 地域とのコミュニケーション (桜を観る会、納涼祭等)
- 工場見学の受入 (中学生、高校生、大学生、山本地域振興局 他)
- 工場内での献血協力

2. 岡谷工場

- 諏訪湖周辺の美化活動
 - ・諏訪湖アダプトプログラム
 - ・岡谷湖畔公園清掃活動
- エコキャップ、ベルマーク、ブルタブ、古切手回収活動
- ノーマイカーデーによる CO₂ 削減活動
- インクカートリッジのリサイクル
- マイバッグ使用による CO₂ 削減活動
- 地域とのコミュニケーション (納涼祭、岡谷ものづくりフェアへの出展)
- 献血活動
- 障害者施設製造のお菓子 (クッキー・ドーナツ) の購入販売 (就労継続支援 B 型事業所：社団福祉法人友倫会ソレイユ)
- 募金活動

労働安全衛生

1. 両工場共通

1. 労働災害

- 目標：2015 年度休業労災 0 件
 - ◎岡谷工場→休業労災は発生していません
 - ◎能代工場→休業労災は発生していません
 再発防止策を実施し、工場内の推進委員会で事故の報告を行い、また両工場
 情報共有と水平展開を図りました。

2. 危険点数の削減 (2015 年度対策実施件数)

	Aランク→Bランク以下	Bランク→Cランク以下
能代工場	対象項目なし	14 項目のうち 13 項目達成
岡谷工場	8 項目のうち 8 項目達成	4 項目のうち 4 項目達成

営業部門の取り組み

当社では 2004 年 7 月に業界初の支店・営業所での環境マネジメントシステム ISO14001 及び、労働安全衛生マネジメント規格 OHSAS18001 の認証を取得しました。2016 年より自社独自の EMS を構築し、MR 活動においても、環境と労働安全衛生に配慮しています。

全国 13 支店、86 営業所 (2015 年度末現在)



2015 年度活動結果

環境

1. 効率的運転で燃費向上

- 2014 年度：13.6km/ℓ → 2015 年：14.2km/ℓ
2014 年度より燃費が 4.4% 向上し、目標としていた前年比 1% 向上を達成
- ハイブリッド車両導入：2016 年 3 月末 = 420 台 / 938 台 (2015 年 3 月末 = 323 台 / 951 台)
- エコドライブの励行：ふんわりアクセル e スタート、加減速の少ない運転、早目のアクセルオフ
車両への不要物積載の禁止と整理整頓

社会貢献活動

1. 地域貢献活動の実施

- 支店周辺の清掃活動等を実施

2. スマイルプロジェクトと連動した活動の実施

- ペットボトルキャップ収集
- 社内で募金活動
- 使用済み切手の収集

3. MR の普通救命講習の受講

- 全 MR の普通救命講習再受講を推進

労働安全衛生

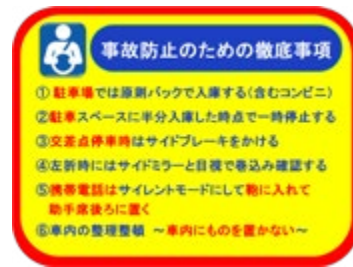
1. 車両事故率 (50% 以上有責) の削減

- 2015 年度車両事故率 (50% 以上有責)
2014 年度：17.4% (163 件) → 2015 年度：19.6% (183 件)
2014 年度より事故率が 2.2% (20 件) 増加し、目標としていた 18% 以下を達成することができませんでした。
- 車両事故防止の対策を実施
 - ◎ 交通安全キャンペーンの継続、全国交通安全運動と連動した取り組み
 - ◎ 意識高揚のための交通安全ステッカー
 - ◎ 交通安全ビデオによる搭乗者教育
 - ◎ 新入社員向け特別運転教習訓練
 - ◎ 豪雪地帯転勤者への特別運転訓練
 - ◎ リアコーナーセンサーの導入
 - ◎ 衝突防止サポート機能付き車両の順次導入



毎年新入社員研修の一環として、特別運転教習訓練を実施

- ◎ 事故多発者へのドライブレコーダーの導入
- ◎ 車両使用者にわかりやすい内容で作成した安全運転徹底事項の浸透



2. 感染予防対策

- 医療機関訪問が主な業務であるため感染予防対策を徹底
 - ◎ 帰社時の手洗い・うがいの励行
 - ◎ 冬季のインフルエンザワクチン接種（一部補助）による感染予防対策実施
 - ◎ リスク管理委員会の感染予防通達の徹底

3. その他

- 防災対策
 - ◎ 防災訓練の実施
 - ◎ 避難経路図の掲示と教育
- 健康増進策
 - ◎ ウォーキングキャンペーン
 - ◎ 健康相談
 - ◎ メンタルヘルス対策

本社の取り組み

本社においては、支店営業所とともに 2004 年 7 月に環境マネジメントシステム規格 ISO14001 及び、労働安全衛生マネジメント規格 OHSAS18001 の認証を取得しました。2016 年より自社独自の EMS を構築し、環境と労働安全衛生に配慮しています。

なお、2013 年 5 月に新本社ビルへと移転し、より一層の執務環境の向上を図りました。

本社



東京都千代田区神田駿河台 4 丁目 6 番地

2015 年度活動結果

環境

1. エネルギー使用量削減

- 2014 年度 本社電力使用量：484 千 kwh → 2015 年度：477 千 kwh
前年度から 7 千 kwh の電気使用量を削減

社会貢献活動

1. 地域貢献活動の実施

- 本社周辺の清掃活動を年 2 回実施
- 千代田区障害者施設のお菓子販売
- 本社会議室での献血実施

2. スマイルプロジェクトと連動した活動の実施

- ペットボトルキャップ収集
- 社内で募金活動
- 使用済み切手の収集

3. 上級救命講習の受講

- 2015 年度 : 4 名受講
緊急時における人命救助・二次災害防止の体制を強化するため、自衛消防隊を中心に 51 名が認定証を有しております

労働安全衛生

1. 自然災害への体制強化

- 自衛消防隊訓練の実施
- 2013 年 5 月に耐震対策が強化されたビルへ本社を移転
- 全従業員に対して本社ビルの避難経路について教育
- ビル管理会社の防災訓練に年 2 回参加
- 本社ビルでの備蓄品設置場所について EHS 推進委員会を通じて社員へ周知



2. 本社ビルでの安全性向上

- EHS 推進委員会による職場巡視を毎月実施
危険予知活動を行い、本社ビル内でのリスクを軽減



3. 気分リフレッシュによる快適な職場環境を実現

- 社員向け健康セミナーを年 2 回本社会議室にて実施

その他の取り組み

1. メンタルヘルスへの取り組み

メンタルヘルスの取り組みについては、管理者研修のなかで管理者の部下に対する配慮や注意すべき点・メンタル疾患の具体的な症状について理解し、予防・早期発見に努めています。そして、社員に疾患が発生したときには、主治医・所属部署・精神科産業医・保健師・人事部と連携をとり、健康の回復、職場復帰・再発防止に努めています。

また、新入社員教育やイントラネットにより、各自が心の健康を維持するための基本的な知識習得や情報提供を進めており、外部 EAP とも契約して、社員およびご家族の方が気軽に相談できる体制を整えています。

2. 子育て支援対策

当社は、社員の仕事と家庭（子育て等）が両立しやすい環境をつくるために、様々な施策を実施しています。また、仕事と家庭（子育て等）を両立する社員を職場全体で理解し、協力し合ってサポートしていける体制作りにも取り組んでいます。

1. 支援金

- 出産育児支援金
- 入学支援金

2. 育児休業制度

- 子どもが1歳6ヵ月に達するまで、または1歳到達直後の3月末日まで休業可能

3. 出産・育児に配慮した柔軟な勤務制度

- 短時間勤務制度・・・妊娠中および子どもが3歳到達直後の3月末日まで、勤務時間を30分単位2時間まで短縮可能
- 所定外労働の免除・・・子どもが3歳到達直後の3月末日まで

4. 子の看護休暇制度

- 小学6年生までの子で、看護・予防接種・健康診断が必要な場合、子1人につき年間5日、2人以上のとき年間10日取得可能
- 積立年休（有給）を利用可能

5. 配偶者出産休暇

- 配偶者の出産時に2日の特別有給休暇が取得可能

6. 再雇用（ジョブ・リターン）制度

- 妊娠・出産・育児のため退職した社員の再雇用



3. 健康保険組合の保健事業

当社は労働安全衛生活動の全社展開に当たり、杏林健康保険組合の保健事業と連携を取り、従業員や家族の健康管理のための生活習慣病健診、被扶養者健診等、下記の健康増進策を図りました。

1. 健診項目の充実 (基本的な健診項目に下記項目を追加)

- 生活習慣病健診・・・ 胃部検査 (X線検査、ペプシノーゲン検査)、腹部超音波検査、大腸癌検査、眼底検査、前立腺検査 (PSA検査)、喀痰検査
- 婦人科健診・・・ 子宮癌検査、乳癌検査
- 被扶養者健診・・・ 生活習慣病健診 (喀痰検査除く) 及び婦人科健診に同じ
- 特定健康診査・特定保健指導・・・ 40歳以上の社員・被扶養者の健診及び保健指導

2. データヘルス計画の推進 (生活習慣病予防対策の充実)

- 禁煙キャンペーン・・・ 65日間連続禁煙者に「達成賞」贈呈
- ウォーキングキャンペーン・・・ 目標達成者に「記念品」贈呈
- スポーツ補助費・・・ スポーツによる健康増進をサポート
- 禁煙外来費の補助・・・ 禁煙外来による禁煙達成者へのサポート



3. 疾病予防

- ファミリー健康相談・・・ 育児・急病・慢性病・精神衛生等の「電話健康相談」と専門医を紹介する「ベストドクターズ・サービス」
- インフルエンザ予防接種補助・・・ 予防接種の一部費用を補助 (社員及び家族)

4. 在宅療養支援面

- 保健師派遣事業・・・ 在宅高齢者のご家庭を訪問し、健康相談、福祉情報の提供

5. 医療費の適正化

- 医療費通知・・・ 1ヶ月に掛った医療費および健康保険組合からの給付金を通知
- 社会保険の知識 (小冊子) の配布・・・ 社会保険の制度や仕組みをまとめた小冊子を入社時に配布